

田富小だより

「悪くないだろう」のススメ

新型コロナウイルスに翻弄された1年が終わろうとしています。将来歴史の教科書に載るほどの大きな出来事でした。大人も子供も、我慢の連続の日々でした。今まで当たり前だったことができないことは、辛いことです。しかし、今回の新型コロナの流行は、当たり前だと思っていたことが、実はとても有難いことだったことに気付かされる機会でもあったと思います。また、自分たちを支えてくれる多くの人々の存在に気付かされた機会でもあったと思います。

このように、辛いときや苦しい時でも、その出来事に対するとらえ方を変えるだけで、心が軽くなったり、乗り越える力が湧いてきたりすることがあります。これのように、「物事を新しい意味付けでとらえなおすこと」をリフレーミングと言います。お笑いコンビ「ペコぱ」の松陰寺太勇さんのつっこみ「悪くないだろう」も、このリフレーミングだと思います。第3波の終息は全く見えない厳しい状況ですが、「家にいて、家族みんなであらゆるお正月も悪くないだろう。」と、プラス思考でいきましょう。3学期の始業式には、子どもたちの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。保護者の皆さまも、よいお年をお迎えください。



地域住民の生涯学習の場としての学校

学校だより13号でも紹介しましたが、コミュニティ・スクールの取り組みの1つとして、学校を地域住民のみなさんの生涯学習の場として活用することを各自治会のことぶき会を通じて呼びかけていただいています。先日、新町自治会の望月盛恵さんが、ちぎり絵の作品を2点の展示を申し出てくださいました。ちぎり絵は、絵具でなく色とりどりの和紙をちぎり、何層にも重ねて絵を描いていきます。線で描かれていないせいか、とても柔らかなタッチの作品になります。「今年は、新型コロナの影響で美術館での展示会を開くことができなかったため、学校に作品を展示できてうれしいです。」とおっしゃっていただきました。1階の児童昇降口と南館1階の廊下に展示してあります。今後定期的に作品を入れ替えて展示していく予定です。保護者の皆様も来校した際、是非ご覧ください。

身近なところで、こんな特技を持った方がいたことに驚きました。絵画を鑑賞することはもちろんですが、生涯を通じて好きなことに取り組み自分を高めていく姿に触れることも、子供たちにとっては貴重な学びとなります。さらに多くの方に御利用いただければ嬉しく思います。



文字だけでは 伝わらないことがある

最近、子供の間で SNS による対人トラブルが増えてます。田富小学校でも、珍しいことではありません。スマホを持たせていないからと、安心はできません。LINE のように、スマホの他にもゲーム機や音楽プレーヤーでも利用できるアプリもあります。

SNS によるコミュニケーションの問題点の1つめは、閉鎖性です。LINE のグループ機能ように限られた仲間内の会話になるため、他者の目を気にする意識が薄れて気が大きくなり、過激な表現がエスカレートする傾向があります。我が子が誰と、どんなやり取りをしているのか、ときには保護者がチェックすることが大切だと思います。

もう1つの問題点は、表情が見えないため微妙なニュアンスが伝わらないことです。例えば、「ばか」という言葉は、「ば〜か。」と笑いながら言われたのか、「ばか！」と怒鳴り声で言われたのかで、相手への伝わり方は全く違ってきます。しかし、文字だけだと表情や声の調子は伝わらないので、冗談で言ったつもりが、相手には強く受け取られる危険性が出てきます。また、相手の表情が見えないので、自分の言葉を相手がどう感じたのかも分かりません。大切なことは顔を見て、相手に直接伝えることが望ましいと私は思います。

個人的には、小学生に携帯やスマホは必要ないと思います。安全を守るために持たせたい親心は理解できますが、安全のために持たせた携帯によって子供がトラブルに巻き込まれないように、本来の使い方がされているか確かめる必要があると思います。



私が出会った素敵な子ども達の姿

- ①朝、児童玄関に立っていると、「やってみるジャンノート、1冊やり終わったから、今日見せに行きます。」と話しかけられることがあります。そんなときの子供の顔は、充実感に溢れてたとても素敵な表情をしています。自分の力で物事を成し遂げたよこびが積み重なって、「自分はやればできるんだ。」という自信が生まれるのだと思います。
- ②学期末の漢字 50 問テストで、3 年生と4年生の外国籍児童が 100 点をとりました。日本人でも満点を取るのとは簡単なことではありません。本当によく頑張ったと思います。拍手を送ります。

田富小の子どもたちの姿

たてわり清掃



12月4日に、児童会主催の愛校作業が行われました。たてわり班ごとに分かれて、校舎内と庭の清掃を行いました。児童会で取り組んでいる STS 運動（しずかに ていねいに すみずみまで）を意識している姿が見られました。児童会選挙を終え、5年生にもリーダーとしての自覚が感じられました。

クラブ活動



12月7日は、クラブ活動の日でした。子供たちはクラブ活動をととても楽しみにしています。4~6年生までの同じことに興味のある児童が集まり、自分たちで計画を立てます。写真は、室内ゲームクラブの様子です。来年度は、地域のみなさんにも参加して頂ければと考えています。

